

旭市液状化対策検討委員会（第7回）議事要旨録

- ◆日 時 平成25年12月13日(金) 13:35～16:24
- ◆場 所 旭市役所 本庁舎3階 委員会室
- ◆出席委員 (委員) 石原 研而 (委員長) 尾上 篤生 (副委員長)
塚本 良道 松下 克也
川口 幸男 太田 博 (敬称略)
(事務局) 旭市
パシフィックコンサルタンツ株式会社

◆議 題

- (1) 第6回委員会議事要旨録(案)の確認
- (2) 第6回委員会での指摘事項への対応報告
- (3) 液状化の検証
- (4) 再液状化の診断
- (5) モデル地区の設定
- (6) 液状化対策工法の検討

その他

- (1) 次回日程について

◆配付資料

- 資料－1 委員名簿、事務局名簿
- 資料－2 第6回液状化対策検討委員会議事要旨録(案)
- 資料－3 第6回委員会の指摘事項とその対応について
- 資料－4 液状化の検証
- 資料－5 再液状化の診断
- 資料－6 要対策地区の設定
- 資料－7 モデル地区の設定
- 資料－8 液状化対策工法の検討
- 資料－9 個別の液状化対策工法について
- 別冊資料－1 地質調査結果の詳細データ
- 別冊資料－2 「資料－4 液状化の検証」の詳細データ
- 別冊資料－3 「資料－5 再液状化の診断」の詳細データ
- 別冊資料－4 「資料－8 液状化対策工法の検討」の詳細データ

(1) 第6回委員会議事要旨録(案)の確認

第6回委員会議事要旨録(案)について承認された。

(2) 第6回委員会の指摘事項への対応報告

事務局より、資料-3を用いて、第6回委員会の指摘事項とその対応についての説明を行った。

(3) 液状化の検証

事務局より、資料-4を用いて、液状化の検証について説明を行なった。

【主な意見・ご質問】

- ・ 実際の被害から地盤条件を考えると地盤が非常に強い箇所があり、推定沈下量と実測沈下量に差が生じているため、地盤条件を見直すことで実際の被害の状況と一致させる必要がある。近接のスウェーデン式サウンディング試験結果だけではなく、付近の試験結果を用い実現象との一致を図ってほしい。(尾上副委員長、松下委員)

【回答】 了解した。(事務局)

- ・ 相対密度の比較的高い地点があり、推定沈下量が小さく算出されているため、再度、最大最小密度試験結果の値を確認してほしい。(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

- ・ 最終的に液状化の検証における推定沈下量と実測沈下量に差がある場合には、コメントを入れることで対応してほしい。(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

(4) 再液状化の診断

事務局より、資料-5を用いて、再液状化の診断について説明を行なった。

【主な意見・ご質問】

- ・ 液状化強度試験の際に最小最大間隙比を記入しているかどうか確認してほしい。(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

- ・ 後草と蛇園に関して、地震応答解析において、PLは同様の値であるのに対し、Dcyは大きく値が異なっているので、確認してほしい。また、簡易法と地震応答解析においても乖離が生じているため確認してほしい。(石原委員長、松下委員、塚本委員)

【回答】 了解した。(事務局)

(5) モデル地区の設定

事務局より、資料-6、資料-7を用いて要対策地区の設定、モデル地区の設定について説明を行なった。

(6) 液状化対策工法の検討

事務局より、資料－８を用いて液状化対策工法の検討について説明を行なった。

【主な意見・ご質問】

- ・ 無体策の状況においても推定沈下量が大きい値ではないため、再度検証を行ってほしい。（石原委員長）

【回答】 了解した。（事務局）

- ・ 二次元の推定沈下量と一次元推定沈下量の違いが見られる箇所があるがなぜか。（尾上副委員長）

【回答】 基本的には同じ値になるはずだが、一次元はFDELの結果、二次元はSHAKEの結果であるため、応答に多少の差異があるため。せん断応力やせん断ひずみに大きな差がないことは確認している。（事務局）

- ・ これまでは個別の地質調査データに基づき検討を行ってきたが、全体的に眺め、被害の状態なども勘案して最終的な検討を行うのが良い。

【回答】 了解した。（事務局）

- ・ 資料の公表については、検討途中のものや今後の検討によって結果が変わるものについては、事務局で公表の仕方を考えてほしい。

【回答】 了解した。（事務局）

その他

- ・ 次回の委員会は、1月22日(水)午後1時30分より開始することとした。場所については後日事務局から委員へ連絡することとした。

以上